

立教大学では、現在、「理数教育連携を通じたCBLSプログラム～豊島区との理数教育連携による専門教育プログラム～」を進めています。CBLSとは、Community-Based Learning in Science Educationの略で「地域に根ざした科学教育」を意味しています。立教大学では豊島区と連携し、豊島区内の小中学校に対して「理数教育連携」を行っています。立教大学の理学部の学生が教員の指導の下、豊島区立小中学校の先生方と協力して児童・生徒を対象に「サイエンスすることの楽しさ」がわかる理数教育実践活動を行います。学生は理数教育企画（授業サポート・教材開発・実験実演など）を立案し、CBLSとして豊島区立小中学校の教育現場での実演します。

この連携事業は、立教大学と豊島区の教育連携組織である「としま教育文化工房21」を推進母体として設置しており、その「理数分科会」という位置づけになっています。

### CBLSの目標

1. 児童・生徒に様々な学習機会を提供し、サイエンスする楽しさを実感する事で児童・生徒が「自ら考える力」を身につける。
2. 立教大学の人的物的リソースの活用による、小中学校教員の理数サイエンス資質の向上
3. 「考えること」、「教育という社会活動への参加」による学生の「課題発見力」、「企画・実行力」の養成
4. 小中学校の理数教育の課題発見と、解決に向けた実効性のあるプログラムの開発

CBLSは学生の主体的学習能力と、科学的素養を実戦経験によって高めると同時に、小中学校の「教育課題」解決に取り組み、「理数教育」活性化を図るといふ、地域社会を基盤に次世代への伝達を実践し、新たな「理数教育」ニーズを創出する試みであるといえます。



SciPa参加学生による理数教育の企画風景

### SciPaとは？

「科学を楽しむ場」として、Science Parkということばを略したもので、CBLSプログラムを実行するスタッフ・学生たちの集まりの愛称です。

毎週1, 2度、13号館3階のCBLS推進室に集まって、理数教育企画の検討や議論を行っています。そのほかに学校授業の見学や、教育イベントの企画も行っています。

### 連絡先

立教大学理学部CBLS推進室

〒171-8501

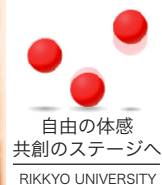
東京都豊島区西池袋3 - 34 - 1

立教大学13号館C306

E-mail: cbls@grp.rikkyo.ne.jp

Tel /Fax: 03-3985-2591

URL: www.rikkyo.ne.jp/grp/cbls



## 立教大学理学部

理数教育連携を通じたCBLSプログラム  
～豊島区との理数教育連携による  
専門教育プログラム～

のご案内